

## II 管内の概要

### 1 農業

一級河川の「櫛田川」「宮川」流域に広がる1市3町からなる当管内の耕地面積は11,756haで、三重県の耕地面積の20.1%、管内面積の10.4%を占めています。

水田農業は、平野部から中山間地にかけて、水稻・小麦・大豆等の土地利用型作物が大規模個別経営体や集落営農組織等により栽培されています。

野菜は、全域でイチゴ、トマト等の施設野菜や、キャベツ、ハクサイ、白ネギ、ナバナ、モロヘイヤ等の露地野菜、多気町では伝統野菜である伊勢芋の栽培が行われています。なかでも、イチゴについては地域農業の基幹品目として位置付けられる重要品目となっています。

果樹では、松阪市、多気町を中心にミカン、カキ、ナシ等の栽培が行われています。

茶は、全国第3位の生産量を誇る「伊勢茶」の一大産地を形成しており、主に松阪市で深蒸し煎茶が、大台町と多気町で普通煎茶が栽培されています。

畜産は、三重県を代表するブランド「松阪牛」として全国的に知られている肉用牛が全域で肥育され、地域一体となって生産振興やブランド化に取り組んでいます。

農地については、農業所得の主要な位置を占める水田農業の振興を図るため、経営体の規模拡大と生産経費の低減を図ることを目的として、地域の立地条件に即した農業用排水施設の整備や大区画ほ場整備などを推進しています。

また、農村の安全・安心を確保するため、農業用ため池の耐震対策、排水機場等の長寿命化等の防災減災対策や、農村環境の整備を計画的に実施しています。

### 2 林業

松阪管内は、櫛田川流域、宮川流域の二流域からなり、森林面積は82,788haで三重県の森林面積の22%、管内面積の73%を占めています。森林面積の91%が民有林で、人工林率は県平均の62%を若干上回る66%となっています。また森林の蓄積は18,434千m<sup>3</sup>で本県の24%を占めています。

櫛田川上流の松阪市飯高地域は、古くから県内有数の優良林業地帯を形成し、なかでも「波瀬林業」は有名です。また、櫛田川下流の松阪地域は古くから全国の木材の集積地であり、国産材を加工する製材工場も多く、林業、木材産業は重要な地域産業となっています。

当管内の森林資源は成熟期を迎えており、川上側では、森林組合を中心に施業の集約化を図るための路網整備や高性能林業機械の導入により、生

産性の向上に努めています。また、川下側では、松阪木材コンビナートの機能強化を進めるとともに、平成30年度より多気町で本格稼働した大型合板工場や未利用間伐材等木質バイオマスの発電利用などにより、木材利用を推進しています。

さらに、令和元年度より新たな森林経営管理制度がスタートし、年々交付額が増額されていることから、市町が森林環境譲与税を活用した森林整備等に取り組むにあたり、的確な指導・助言に力を入れて行っています。

また、令和元年度より第二期となる「みえ森と緑の県民税」事業により、災害に強い森林づくりを引き続き進めているところです。

なお、令和2年度に新設された防災柵についても、県は市町、ライフライン事業者と連携して、大規模な停電を未然に防止するため、電源などを寸断する恐れのある樹木をあらかじめ伐採する「災害からライフラインを守る事前伐採事業」の取組みを進めています。